【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【公開番号】特開2010-201277(P2010-201277A)
【公開日】平成22年9月16日(2010.9.16)
【年通号数】公開・登録公報2010-037
【出願番号】特願2010-144827(P2010-144827)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成22年9月22日(2010.9.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
遊技動作制御を実行する主制御手段と、該主制御手段から受信したデータに応じて周辺装置の動作制御を行う副制御手段とを備え、前記主制御手段が送信するデータを前記副制御手段が受信する契機とするストローブ信号を所定期間出力するように構成された遊技機において、
前記主制御手段は、前記ストローブ信号を出力している期間において、前記データを前記副制御手段に送信する処理とは異なる他の処理を実行可能に構成されていることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記目的を達成するため、本発明は、遊技動作制御を実行する主制御手段と、該主制御手段から受信したデータに応じて周辺装置の動作制御を行う副制御手段とを備え、前記主制御手段が送信するデータを前記副制御手段が受信する契機とするストローブ信号を所定期間出力するように構成された遊技機において、前記主制御手段は、前記ストローブ信号を出力している期間において、前記データを前記副制御手段に送信する処理とは異なる他の処理を実行可能に構成されていることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明によれば、主制御手段は、ストローブ信号を出力している期間において、データを副制御手段に送信する処理とは異なる他の処理を実行可能に構成されているので、主制御手段がウエイト状態におかれることがなく、他の処理を実行することによって、遊技動作制御が円滑に行われるようになるという効果が得られる。